

コロナ禍1年越し 連続テレビ小説『スカーレット』で「八郎」役の
松下洸平さんが「滋賀陶芸大使」に就任
滋賀の陶芸文化や魅力を発信！



3月24日(水)午前、東京・日本橋にある、滋賀県の情報発信拠点「ここ滋賀」で、滋賀陶芸大使の委嘱状交付式が行われました。三日月大造滋賀県知事から、俳優・シンガーソングライターの松下洸平さんへ委嘱状が手渡され、記念品の信楽焼たぬきが贈呈されました。

滋賀陶芸大使は、信楽焼をはじめとする滋賀の陶芸文化の魅力を広く発信していただき、多くの方々に滋賀県の良さを知っていただくため、委嘱するものです。

滋賀県甲賀市を舞台に、信楽焼の女性陶芸家「川原喜美子」の半生を描いた連続テレビ小説『スカーレット』。松下さんは、同作品で、喜美子の夫であり、同じく陶芸家である「八郎」役を演じました。

「八(はち)さん」こと八郎は、信楽の素材を使った作品作りにこだわり、地域を愛した人物です。

三日月知事は、「一年越しになったが、陶芸大使の委嘱状をお渡しできたことを嬉しく思う。松下さんは土をこねたりろくろを回すシーンも、ご本人が演じておられ、陶芸や滋賀に真摯に向き合う姿に感銘を受けた。これからも滋賀の陶芸に親んでいただき、一緒に陶芸文化を育てていくことができれば」とコメント。

松下さんはそれに答える形で、「陶芸や滋賀県の自然、信楽のモノを作る文化や豊かさに出会い、作りをするうえでとても刺激を受けました。信楽焼や、滋賀の魅力を一生懸命PRできればと思います。」とコメントされました。



『スカーレット』で陶芸シーンの指導を行った、信楽窯業技術試験場の高畑宏亮(たかはた・ひろあき)さんによれば、「松下さんは撮影の合間にも、熱心に陶芸の練習をされていた」といいます。

松下さんは信楽焼について、「どっしりとしていて、土を感じられる。持っているとき安心するようで、温かみがあるのが特徴。同じ形、同じ大きさのものを作るのは難しかった」と語ります。また、信楽の印象を尋ねる質問には、「街を歩いていると、どのお宅にも信楽焼のたぬきや火鉢が置いてあり、古くから陶芸はこの街の産業だったということが感じられました。地域をあげて陶芸文化を守っていきたい、という思いをお手伝いできることがとても嬉しい」と答えられました。

松下さんは自身でも料理をされ、盛り付けには信楽焼の器を使うこともあるそう。写真はSNSなどにアップしていきたいとのこと。幼い頃から芸術に慣れ親しんできた、松下さんならではの料理と器の組み合わせにも注目です。

<松下洸平さんプロフィール>

1987年3月6日生まれ、東京都出身。2008年にCDデビュー。

09年にミュージカル『GLORY DAYS』で初舞台を踏んで以降、俳優としても舞台や映像で活躍している。

第26回読売演劇大賞杉村春子賞・優秀男優賞受賞、第73回文化庁芸術祭演劇部門新人賞受賞。

NHK朝の連続ドラマ小説『スカーレット』（19）でヒロインの夫、八郎役で人気を博す。

最近の主な出演作に、舞台 ケムリ研究室no.1『ベイジルタウンの女神』（20）、こまつ座『木の上の軍隊』（19）、『母と暮せば』（18）、『スリル・ミー』（18）、映画『燃えよ剣』（10月公開予定）、TV『ぐるナイ ゴチになります!』（21）、『知ってるワイフ』（21）『#リモラブ～普通の恋は邪道～』（20）、『MIU404』（20）などがある。

公式サイト<https://www.kouheiwab.com/>

公式Instagram：@kouheimatsushita_official
